

第6回 NRI 会合報告

- 開催日時：2024年6月19日（水）20:00-21:02JST
- 参加者数：開始当初は20名程度、その後増えたが最大参加者数を記録していない。

議事内容

1. 歓迎および自己紹介

議題の承認

2. NRIs Main Session の計画

開催日：2024年12月15日(日) 時間未定

a) Policy Questions の8つの案について

- i) NETmundial+10、WSIS+20、GDC などの現行プロセスはインターネットガバナンスとマルチステークホルダーモデルにどのような影響を与えるか？
- ii) インターネットガバナンスとマルチステークホルダーモデルの適用を推進するために、NETmundial+10の原則をどのように運用していくか？
- iii) インターネットガバナンスとマルチステークホルダーモデルの進化におけるグッドプラクティスの例として、NRIs プロセス内およびプロセス外の既存のイニシアティブの例にはどのようなものがあるか？
- iv) インターネットガバナンスプロセスとそのマルチステークホルダーモデルは、デジタル公共政策をどのように推進するのか？ それらは従来の多国間プロセスとどのように相互作用するのか
- v) インターネットガバナンスとマルチステークホルダーモデルは、分野ごとの視点より、どのように進化してきたのか？
- vi) インターネットガバナンスに関する議論や話し合いに、より多くの人々を効果的に参加させるにはどうすればよいか？
- vii) 国家および地域レベルにおいて、モデルにどのような声を反映させる必要があるか、また、どのようにしてそれらの声を反映させるか？

- viii) マルチステークホルダー・アプローチは、危機時における包摂性とインターネットインフラの回復力の道筋をつけることができるだろうか？

<意見交換>

- vii)の“Stakeholder groups”は違う表現の方がいいのではないか→すべての人の意見を取り入れるということが重要なので、“voices”に変更
- 8つの案の中には重複しているものがある。特に ii)の“NETmundial+10 principles”は他のいくつかとオーバーラップしているのではないか？→i)と ii)は一緒にする
- ii)の“operationalize”は別の言葉の方がいいのでは？→(案) use(これが最も支持された), propagate, benefit, promote, articulate or make interoperable, How can it be promoted or how to create awareness, adoptなどが挙げられ、あとで事務局で検討する
- vi)と vii)は一緒にする。
- viii)は重要なので残すべきだが、表現については事務局で案を検討する。

b) 会議構成について

去年と同じく、下記のようにすることでどうか？→特に反対意見は出なかったが、時間がないので、もし何か意見があればメーリングリストに送ってほしい旨、事務局より要請あり。

- 一般参加者からの質問を受ける前に、アジア、オセアニア、アフリカ、ヨーロッパ、米国およびカナダ、ラテンアメリカおよびカリブ海諸国、中東・北アフリカ地域から、最大7人の専門家が発言予定
- NRI エコシステム/コミュニティと密接な関係を持つ NRIs マルチステークホルダー組織委員会が指名する専門家話者
- 主に現地会場での講演者を対象とし、必要に応じてオンラインでの発表も実施
- セッションの流れ(例)
 - 司会者による挨拶と紹介 - 5分
 - 専門家による発表：7人の話者による各5分のスピーチ - 35分
 - フロアとの質疑応答 - 45分
 - 司会者による閉会 - 5分

3. セッションの標題

次回7月のNRI会合で決めることとなった。

4. その他

後日であるが、各NRIに対し、今年のNRI年次会合についてIGFカレンダーに情報共有してほしい旨依頼がIGF事務局よりあった。<https://www.intgovforum.org/en/content/nris-meetings-overview>

以上